



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.69

2018.夏号



観蓮節



年に一度、早朝四時に開園し、夜明けとともに咲くハスの花を観賞していただく恒例行事「観蓮節」

ピンクの可憐な花を咲かせる「大賀蓮」と、気品ある白い大輪の花「天四海」をお楽しみください。

みなみがた荘



みなみがた荘入所者の方々の作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で
まことの医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

(社会におけるポジション)

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

(事業経営の将来像)

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

(組織の人のあり方)

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20～21
- トピックス…………… p21～22

ライフケアセンター

施設全体行事

春祭り



盆踊り



岡山民謡太鼓保存会



八朔踊り

七つの子

(複合施設を童謡の題名に例えて表現しました。) この「七つの子」では、各団体のご協力のもとで行われた行事を中心に、ご紹介していきます。

岡山混声合唱団

5/17(木)



日本舞踊「きずな会」

正派若柳流

5/29(火)

きずな会



オカリナ♪アイリス

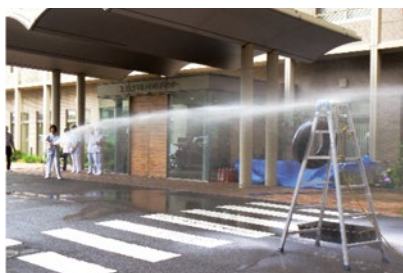
6/14(木)



消火訓練



消火器による消火訓練



散水栓使用での消火訓練

平成30年5月30日(水) 13:30~15:00、新入社員の防災訓練(消火器、散水栓による消火訓練)を行いました。

施設係
名越 良雄





やよいの里

軽費老人ホーム(混合型特定施設)

なでしこ保育園

7月12日 なでしこ保育園のかわいい子供たちが遊びに来てくれました！！

入居者の皆様はひ孫や玄孫のようなかわいい訪問者との会話や遊びを楽しんで、一緒に魚釣りやモグラたたきをやり、手形や足型の団扇もお土産にもりました。

入居者の皆様ほんとうにいい顔をされて、楽しい一時を過ごせました。

また遊びに来てくれる日を楽しみにしています。

介護職員 白坂 未来



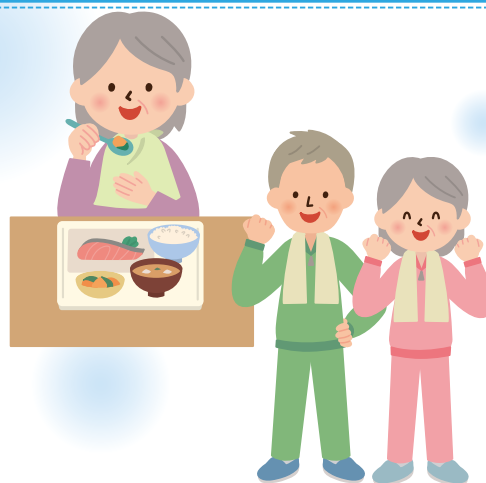
やよいの里に入居して

一人暮らしにさよならして4月にやよいの里に入居しました。

心臓弁膜症で調子も良くなく、6か月毎に病院検診をしていました。6月に受診をしましたところデータも改善よくなっていました。これもひとえに規則正しい生活とバランスのとれた食生活のお陰と思い私も家族も安心して喜んでくれています。

これからは多くの仲間と楽しいイベントにワクワクしています。

入居者 榊原 孝好



排便コントロールの勉強会

7月24日、ネスレ主催による排便コントロールの勉強会がありました。グアーガム（グアー豆を精製して出来る食物繊維）についての有効性・下剤の長期使用による腸管の色の变化について教えて頂きました。たくさん入居者様・職員共に排便コントロールの大切さを痛感し勉強会の最後には活発な質疑応答がありました。今後も色々な勉強会をして健康寿命をのばしていきたいと思います。

介護職員 岡 洋子



なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)



生け花に夢中!

季節の花々を自分流にアレンジ。試行錯誤を繰り返してようやく完成です。出来栄えはいかがでしょうか? ゴージャスに花々を使う入居者様もいれば、シンプルさを追求される入居者様もおられます。生け花には性格が現れるように思います。どの作品も趣が感じられる良い作品ばかりです。

手芸、工作の時間に
夏祭りゲーム大会の
景品を制作中!



行事・クラブ活動 紹介



今日は、グルメなランチの日

ホームでいただく食事も良いですが、たまには外食を楽しみたい! そんな方々のご要望にお応えして本日は美濃吉さんの弁当をお取り寄せ! お味はいかがですか? …って、この笑顔を見れば聞くまでもなかったですね。



父の日にバラの花を プレゼント!

いつも凛しい表情の入居者様の口元がつついほころぶ瞬間です。娘様のことを思い出されているのでしょうか?



健康教室

これからの時期、やっぱり脱水は気をつけないとはいけません。特に高齢の入居者の方はなりやすいです。そこで、ネスレの方をお招きして脱水予防と題して勉強会を開きました。皆様真剣にお話を聞かれ、一言一句聞き漏らすまいとメモを取っている方もおられました。

スカットボールで、スカッと、しましよう!

当苑の運動レクの定番といえば、スカットボールです。玉を打つ時の「スカン」という乾いた音が何とも心地良いです。グランドゴルフ経験者もおられ、白熱した個人戦が繰り広げられます。ところで、読者の皆様はお気づきになられたでしょうか? 写真の右下隅の1点の穴に所狭しと3個のボールがひしめき合っているのがわかりますか? 夏の珍事。奇跡のショットに慌ててカメラを構えました。

それにしても欲がないですよ。高い得点の穴なら良いのね。♪ ~ 狙い撃ち ~ ? ~ ♪



生活相談員 野上 雄介

遠足(木下大サーカス)



6月11日と18日、2日に分けてみなみがた荘の利用者様と一緒に4年ぶりに岡山で開催されている木下大サーカスに行ってきました。ライフケアセンターを10時半頃に出発し、岡南シネマに向いました。久しぶりに外出の利用者様もおられて、車窓の景色を眺めたり、木下サーカスの思い出話をしたりと車の中は盛り上がっていました。

11時過ぎに到着し、早めの腹ごしらえ。井ぶり屋さんに入り、うどんとミニ丼のセットをみなさん注文されました。「うまく食べられるかな」という職員の不安をよそに皆様上手に食べられていました。「美味しいなー」と笑顔で食べられている利用者様が印象的でした。サーカスの開演時間まで余裕があったので、お店の中を散策。普段味わえない時間を過ごせて良い気分転換になりました。



開演時間が近づき、サーカスのテント前に集合。今か今かと入場を待ち、テントの中に入ると真ん中に大きな舞台が作られていました。きれいな光、ダンス、イリュージョン、アクロバット、そしてシマウマやホワイトライオンなどのショーが披露されました。皆で「わあ〜」「すごい」と歓声を上げながら迫力のあるショーを体感し、あっという間の2時間でした。



利用者様の中には、サーカスを生まれて初めて観る方もおられ「サーカスに参加できてよかった」「感動したなー」と嬉しそうに話をされていました。また、普段あまり感情を表に出されない方も、ショーを興味深そうに観られていました。次の日にサーカスの感想を楽しそうに言われる方もおられて、本当に利用者様と一緒にいけて良かったと感じました。

ライフケアセンターに帰ってきたのは17時過ぎでしたが、充実した1日を過ごす事ができ、体調を崩される利用者様もおられず本当に良い遠足でした。私はみなみがた荘に異動して3ヶ月目の行事でしたが、利用者様の嬉しそうな表情が見られてとても良かったです。



看護職員 石野 容子

盆踊り

7月14日に、ライフケアセンター全体で納涼盆踊り大会が行われました。猛暑のなか沢山の方が参加していました。職員の方々は浴衣や甚平、ハッピーを着て中央のやぐらを囲み5種類ほどの盆踊りを音楽と太鼓に合わせて踊りました。利用者の方々は「浴衣がええなあ〜。」と言って下さったり、手拍子や盆踊りを踊っている方とハイタッチをして、とても楽しまれている様子でした。外に出てこれない方も窓から盆踊りの様子を楽しそうに見ておられました。また、盆踊りのほかにも太鼓連の方による創作太鼓の演奏など、とても迫力があり利用者の方々も集中して見入っている様子でした。

今年は厳しい暑さの中でのお祭りでしたが、利用者の方の笑顔も多くみられていたので、思い出に残る楽しい行事だったと思いました。

介護職員 坂本 奈美



〈2F〉《朝顔の壁面》

2Fでは夏に先駆け1ヶ月前から入所者様とゆっくり折り紙で「朝顔」を作ってきました。

ユニットで「どうやって飾ろうか」「小さい花もいいよね」など、みなさんと楽しく話をしながらたくさん作りました。いざ壁面に飾ってみると、ユニットの壁だけではなくエレベーターの横の壁に飾っても余ってしまうくらいの数を作っていました。

完成した作品を眺めながら「良いねえ、夏が来たね!」と笑顔を見せて下さいました。

施設へ入所されていると、どうしても季節を感じる機会が少なくなってしまうので少しでも季節を感じて頂ける様に、入所者様と一緒にこれからもいろいろなものを作り続けて行きたいと思っています。 介護職員 川崎 由美



〈3F〉《うらじゃ》

皆様は“うらじゃ”を知っておられますか?岡山市にて、毎年8月に行われる夏祭りのことで、岡山県に古くから伝わる鬼神「温羅(うら)」の伝説を元にして名付けられたお祭りです。3Fフロアにも、このお祭りを少しでも味わって頂こうと、うらじゃ音頭で、総踊りを再現しました。この曲を聞くのは初めてという方が多く、圧倒され気味でしたが、職員と一緒に「手・肩・肩・ソレ♪結んで♪開いてドドンがドン(^^♪)」と、手を動かしたり、口ずさんだりして、楽しむことができました。

今年は、西日本豪雨で予想だにできなかった甚大な被害が、この岡山にもありました。うらじゃのテーマ「共生と融和」の精神で、うらじゃの踊り子のように、しっかり歌って踊って元気よく、この夏の猛暑を吹き飛ばして行きたいです。

介護職員 安田 美保子



〈4F〉《カラオケ&お茶会》

梅雨があけ、夏の暑さも本番となって来ましたが、みなさんお変わり無くお過ごしでしょうか? たちばな苑4Fでは7月の誕生日者がいなかったため、カラオケ&お茶会をしました。最初にカラオケをして、みんなで懐かしい歌等を歌いました。口ずさんでいる方にマイクを向けると「…」と恥ずかしがって歌えなくなる方が大半でした。

1人のツワモノをのぞいては…。(★▽★)ニヤリ

なんとその方はマイクを渡すと♡美声♡&ビブラート声を使いこなして歌って下さいました。

「懐かしいな」「昔はよく人前で歌っていた」と昔を懐かしむように…。

みんなで声をだして歌ってスッキリしたところでお茶会タイムに!!

チョコレートケーキとコーヒー等をみんなでワイワイ言いながら食べていました。

チョコクリームがいっぱいの上側だけ食べている方も…。

みんなで楽しめたので良しとします。短いですが終わります。

例年にない暑さが続いておりますので、お身体にご自愛ください。

介護職員 石岡 拓馬





デイケアセンター

通所リハビリ

デイケアでは平成30年5月～平成30年7月まで下記の色々な行事を計画しました

平成30年

5月22日(火) バイクング
5月25日(金) 春祭り(屋台)
6月15日(金) エアロビクス



6月21日(木) クラフト教室
6月22日(金) 風船バレーボール大会
7月14日(土) 盆踊り
7月30日(月) 高齢者の脱水(勉強会)



今回もデイケアでは色々盛り沢山の行事がありました。特に印象深いのはデイケア、デイサービス合同で参加した風船バレー大会でした。



なななんと…優勝しました～!! (*^_^*)

やはり、チームワークがいいんでしょうね♪ 沢山の方々の応援もあり「フレイ!! フレイ!! デイ!」「フレイ!! フレイ!! デイ!」波に乗りきれました。

次回もチーム一丸となり頑張っって優勝トロフィーをゲットしたいと思います。

バイクング、春祭りではごちそうを食べられ皆様大満足でした。

クラフト教室では作りたい方がとてもいらっしや、なかには2つ3つと作られる方がおられました。

デイケアではリハビリの時間が多いのですが空いた時間を見つけ、皆さん、プリント・塗り絵・刺し子など意欲的に取り組まれています。



介護職員 吉村 由起

リハビリスタッフからのワンポイントアドバイス

まだまだ日中の外は暑く外出の機会は減り、冷房の効いた部屋でつついだらだらしてしまう…。そんな方も多いのではないのでしょうか？

暑い日にクーラーや扇風機を利用し体温調節、熱中症対策をするのはとても大切なことです。

しかし、涼しい場所で身体を動かさずに過ごすことは、体力の衰えの原因にもなります。

暑い外に出て運動を…!! とは言いません。涼しい家の中で少し伸びをしてみたり、足踏みや背伸びをしてみたり、手・足の指先を動かす等の運動を行っててください。

テレビを観ながら…トイレに立ったついでに…で構いません。

身体を動かす機会をつくるようにしましょう。朝・夕が涼しくなってきたら無理のない程度にお散歩も良いですね。涼しい場所に居ても、水分補給は忘れないでくださいね。

作業療法士 新 悠香子



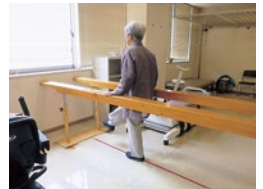
座って出来る足の筋力強化をしています



転倒予防に必要なバランスや足の筋力をつけています



立ち上がり運動にて足の筋力をつけています



平行棒の中で足上げをしながら歩く練習をしています



ベッド上で関節可動域訓練をしています



筋力マシンを使い全身の筋力を鍛えています



座って上肢の筋力訓練を行っています



座って足関節周囲の筋力訓練を行っています



階段昇降訓練を行い、階段昇降能力を鍛えます

デイサービス通信

今年は豪雨の被害があり、梅雨が早々に明けた後記録的な猛暑が続いています。デイサービスでも熱中症予防の為、イオンドリンクでこまめに水分補給をしていただき体調の変化に気をつけながら活動に参加していただいています。

夏の作品作り

季節を感じる作品制作を利用者の方々と日々行なっていますが、夏は金魚やスイカ・パイナップル・夏野菜など、平面の貼り絵などとは別に立体的な作品にも挑戦しています。利用日が違う方同士、実際に会えなくても「あのスイカ完成したのねえ、本物みたい」と協力して完成させた事を喜ばれています。

また作品を展示しているボード前で個別訓練をしていると「運動する時、いつも楽しみにしているのよ」ニッコリされています。

秋の文化祭に作品たちを展示しますので、ぜひご鑑賞して下さい。



夏のデザート作り

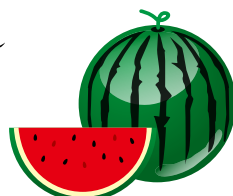
暑い中元気でデイサービスに来てくださる利用者の方々に、より元気になっていただく為の企画で、アイスクリームに果物やカステラなどお好みのトッピングを選んで盛り付けていただきました。「美味しかった、3重丸だね」と好評でした。



恒例のスイカ割り

夏が近づきお店にスイカが並ぶと、“スイカ割りの季節になったなあ”と思います。今年もにぎやかにスイカ割りをしました。

職員の掛け声を頼りに、みなさんの棒がヒットしヒビは入るのですが、中々割れません。いつも仕上げに男性職員が見事に割り、みんなでおいしくスイカをいただきました。またひとつ楽しい夏の思い出ができました。



看護職員 坂本 奈保子

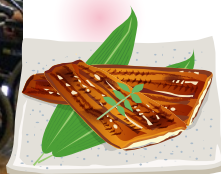
特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 憩いの丘

【お好みコーナー】土用の丑の日

7/
20 金

テラスでは職員が炭をおこし、大きなウナギを丁寧に焼き上げました。
一年で最も暑さが増すこの時期に栄養豊富なウナギを食べてスタミナをつけます。利用者の方々もとても喜んで食べられておられました。



介護職員 坂本 真由美

盆踊り花火大会

7/
27 金

7月27日、憩いの丘の大きな行事の一つである『盆踊り花火大会』が開催されました。今年は連日の猛暑で、熱中症の心配や準備等大変でしたが地域の方のご参加とご協力のもと盛大に行うことが出来ました。

盆踊りでは櫓の周りを利用者も一緒に輪になり太鼓に合わせて踊りました。職員も練習の成果を発揮していました。

そしてフィナーレは花火の打ち上げです。利用者や家族の方も毎年この花火を楽しみにされています。花火が打ち上がるたびに大きな歓声が上がりました。夏の夜空に広がる花火に暑さも忘れ、楽しいひとときを過ごしました。

介護職員 森下 道子



憩いの丘 デイサービスセンター

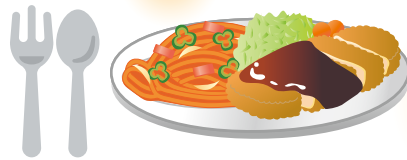
【長崎フェア】トルコライス

6/
26 火



大浦天主堂が世界遺産にというニュースで長崎フェアを企画しました。

『長崎の鐘は鳴る』や『長崎は今日も雨だった』が流れる中でのトルコライスやカステラを頂きました。



7/
17 火

おやつバイキング

カップケーキのバイキングです。いちご・チョコ・抹茶・キャラメル味から選びます。決められたものより選べる楽しさがあります。お皿も工夫してカフェのようにしました。

「美味しい。きれいななー。」と喜ばれました。



【足裏を鍛える】機能訓練、継続は力なり！！

足指で新聞を丸めるトレーニングです。指を開いたり閉じたり、簡単なようでなかなか難しいです。靴下を脱いでみると入浴しない方の足の状態も観ることが出来ます。

「グー・チョキ・パーが中々できん！」

「指が開かんあー」

「ゴルフボールは気持ち良いな〜！

ツボを押さえとるようなな〜！」

「新聞もちぎるの難しい！」

認知症予防！転倒予防！



生活相談員 片岡 なおみ

介護老人保健施設

訪問リハビリテーション事業開始

7月1日（日）付けで訪問リハビリテーション事業を開始しました。今後、医師が訪問リハビリテーションの必要を認めた利用者様の居宅へお伺いして、安心、安全にその人らしい在宅生活が継続できるように支援させて頂きたいと思っております。また、訪問リハビリテーションはチームで行うことに留意して、できること、できないことを話し合い信頼されるサービスを提供させて頂きたいと思っております。

作業療法士 中野 広隆



加茂学区愛育委員会施設訪問



7月25日（水）加茂学区愛育委員会の皆様が訪問して下さいました。

桃太郎の歌に合わせて手話、朗読、ゲームや音楽に合わせてリズム体操等して下さいました。利用者様も一緒に歌を唄ったり、体を動かしたり、ゲームに参加し楽しまれていました。朗読では『愛染かつら』を披露していただき、利用者様も話の中にぐいぐい引きこまれて真剣な面持ちで聞き入っておられました。聞き終わった後には、「懐かしかった」「若い頃小説を読んだり、映画を観に行ったことを思い出した」と、とても喜ばれていました。

短い時間でしたが、有意義な時間を過ごす事ができました。お忙しいなか来荘してくださり本当にありがとうございました。 介護職員 村上 理加

原古才子供会ラジオ体操

7月20日（金）～31日（火）まで備中荘駐車場にて原古才子供会のラジオ体操が行われました。

今年は例年のない酷暑の中、6時30分から50～60人の子供たちが元気にラジオ体操を行っていました。宿直担当のスタッフも参加し、子供たちと一緒に汗を流しました。ただ、今年はやっぱり朝から暑く、体操後はちょっとぐったりしてしまいましたが、体操後も活発な子供たちから元気ももらいました。

理学療法士 村藤 卓秀



介護老人保健施設

備中荘防火避難訓練を実施

6月13日(水)に防火避難訓練を実施しました。総勢21名が参加し、火災発生時の対応方法、避難誘導等の訓練を行いました。

この度の西日本豪雨で自然災害の驚異を再確認しました。12月には地震・洪水を含めた訓練の実施を予定しているの、職員の防災・防火意識をさらに高め、より安全で安心される施設にしていきたいと思ひます。

総務課 市川 浩司



感染対策勉強会に参加

6月6日(水)と6月20日(水)に当荘の感染対策委員会による勉強会に参加しました。講師は管理者である仁科先生で、食中毒についてと感染予防についての講義でした。

最近話題の貝毒の種類や症状についての内容が印象に残りました。感染を引きおこさない為には、標準予防策の、「感染経路への対策」「病原体への対策」「感受性宿主への対策」を実施し、基本である手洗い・手指消毒を徹底し、自分自身が感染源にならないことが大切だと改めて再認識しました。

感染予防の一環として、口腔ケアを実施することで誤嚥性肺炎の発生を40%減少させ、肺炎による死亡率を50%減少させる効果があるとの事で、利用者様の口腔ケアをしっかりと行い、歯周病予防、誤嚥性肺炎の予防に努めたいと思ひます。

初心に戻る事のできるとても良い勉強会でした。

看護職員 近藤 紀子



電話対応セミナーを受講

7月5日(木)に当荘にて電話対応研修を受けました。座学では、心構えや対応の基本、用語の一例などを学び、その後の実施では、事例をもとに内線外線の対応をしました。内容が録音されており、それを聞くことで自分の対応を客観的に知ることができました。日常の業務で電話を使用する機会が多く、改めて電話対応の大切さが分かり、今後の業務に生かしていきたいと思ひました。

介護支援専門員 土居 晶子



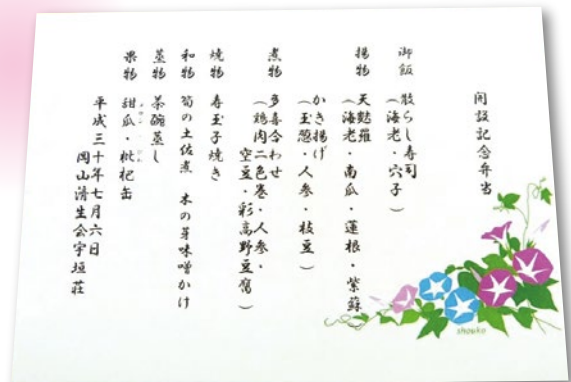
開所記念昼食交流会

おかげさまで開所6周年を迎えることができました。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

宇垣荘（特養・小規模多機能・デイサービス）のご利用者様とご家族様、地域の方々にお声掛けし、昼食をいただきながらの交流会を、施設全体を使いホールやユニットに席を設けました。事業所ごとの席ではなく、宇垣荘利用前からのお友達や事業所は違うけど顔見知りの気の合う方など、普段一緒に食事ができない方と同じテーブルにつき、若い頃のことや最近あった出来事などをおしゃべりしながら食事をしました。

なかには、「あれー！〇〇さ～ん！」とホールで数年ぶりの再会をする方もおられ、懐かしい顔に、自分もまだまだ若いと思っていたけど…年相応なのね（笑）なんて声も聞かれました。大笑いもありつつ、和やかな雰囲気ゆったりお食事を楽しまれ、交流を深めることができました。食事も、と～っても美味しかったです。

看護職員 江田 知里



和音(かのん)さん来荘

今年も宇垣荘に和音(かのん)さんが慰問に来て下さいました。

まず初めに“かえるのうた”で口腔体操。初めは皆様緊張し、はずかしそうに歌っておられましたが、「ゲロゲロゲロゲロ…」と歌うにつれて大きな声に、おおきなお口、そして笑顔も出て来られました。

また、鉄道唱歌では津山線に替え歌し、印象的な駅を絵で紹介して下さい、皆様「おーおー」と懐かしそうにしておられました。元鉄道マンのある利用者様は歌詞を見て「駅の漢字が違う!」と指摘。「さすが〜」と皆様に言われ、ちょっと照れ笑いという場面もありました。

最後の曲は“茶摘み”。歌う前に「皆さんもタスキがけをして歌いましょう」と赤いタスキが配られました。

「どうやるんであした」「タスキがけやこう忘れたがー」とあちらこちらで声が…恥ずかしながら職員はどうやるのか分からず和音さんにSOS。無事に皆様赤いタスキをして茶摘みを歌い終えることができました。

交流ホールに元気いっぱいのが響く時間となりました。 介護職員 長島 真弓

知ってましたか?

八十八夜とは立春から88日目の作物の成長に注意するよう戒める意味



ちょっと豆知識

「あかねだすき」：茜という植物で染めたタスキ。

袖を固定するだけではなく、茶摘み娘が指先を怪我した時に応急処置でも使えるように止血効果のある茜をしみこませていた

小規模多機能型居宅介護事業所

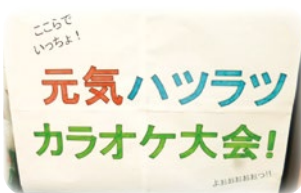
こころでいっちょ! 元気ハツラツ!カラオケ大会 よ〜お〜

御津地区では先日の豪雨災害で床下、床上浸水の被害等を受け、地域の方々が避難されたり、利用者の方々が一時的に避難を余儀なくされました。そこで、宇垣荘では、利用者の方々に元気になっていただくために、カラオケ大会を開催しました。

馴染みの曲に合わせの体操で身体をほぐし、十八番の歌もいつもより声がかしこり出ていました。

当施設の美男子二人組による『ヤングマン』も大笑いありで、大変盛り上がりましたね。まだまだ暑い日が続きますが、みんなで残暑を笑顔で元気に乗り切って行きたいと思えます。しっかり笑って、汗をかいて楽しい時間でした。

介護職員 小畑 梓乃



遠足



養護老人ホーム

玉松園では、希望者をつのり、3班に分かれて遠足に行ってきました。

5月16日「たけべ 八幡温泉」に行き、温かいお風呂に入り、おいしいお食事をいただいた後は、買い物をしてとても楽しい一日となりました。

5月21日・5月30日は、総社にある「農マル園芸」に行ってきました。普段みることのない珍しい花や観葉植物、みたことがないほど大きなクワガタ虫もあり、皆でワイワイと観てまわりました。

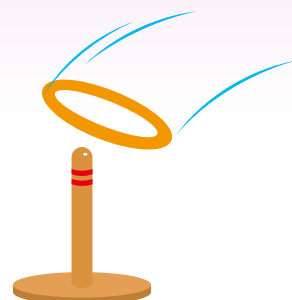
遠方への参加が難しい方には、近くにある「日本料理 魚浅」へ行き美味しいランチに舌鼓をうちました。

介護職員
片山 美保

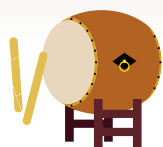


第48回五園合同輪投げ大会

1年に2回開催される合同輪投げ大会では、今回の会場である有楽園にお邪魔し、他の養護老人ホームの方々と楽しく交流を深める事ができました。参加した玉松園の入所者皆さんは毎日練習を重ね努力の結果、女性の部門第1位・第3位、団体賞2位をとって輝かしい成績を収めました。



介護職員 片山 美保



第1回玉松園盆踊り



玉松園では、7月24日に今年初めて園全体で盆踊りを行いました。
お借りしてきた動画を見ながら、入所者の方々や職員と7月半ば頃から毎日練習をして、迎えた当日！園長の太鼓の音とともに踊りがスタートしました。最初は遠慮して、外から眺めているばかりだった入所者の皆様も段々心と身体がほぐれ、職員と一緒にリズムに合わせて踊り楽しい時を過ごしました。その後御津ボランティアの皆さんが作って下さったかき氷の美味しかった事♪今から来年在しみです。

介護職員 片山 美保



6月22日(金) 給食懇談会



給食に関する情報交換の場として、年2回程度「給食懇談会」を行っています。お知らせをしたり、入所者皆さんが日頃感じている事柄を会場でお伺いしたり、アンケート調査の結果発表などをします。お題「好きな料理、食べたい料理」で一番多かった回答は、お寿司（巻き寿司、いなり寿司、バラ寿司）、カレー、麦ごはん、炊き込みご飯といった、かわりご飯でした。次に多かった回答は、そうめん、うどん、中華麺（中華そば、冷麺、焼きそば）といった麺類でした。入所者みなさんのご意見を取り入れた給食をお出ししたいと思っています。8月のバイキングは、回答数が多かったお寿司を計画しています♪

管理栄養士 友次 朋恵



7月7日(土) 災害用備蓄食品を使用



平成30年7月豪雨により被災された方々にお見舞い申し上げます。
7日の朝、玉松園の建物自体に被害はなかったものの御津地区でも旭川が氾濫した場所があり、53号線が一部通行止めになり職員が出勤できない事態となりました。そのため入所者皆さんの朝食は調理場が機能せず給食が出せないため、職員が少ない中、非常食を初めて提供することになりました。提供した中で、入所者皆さんの食事形態確認に時間がかかったり、非常食の調理方法や出す順番がマニュアル通りに行かなかったり、「ペースト粥がそのまま食べられなかった」「エネルギー量に不安を感じた」といった報告がありました。今後は、今回の貴重な経験をもとに口頭や回覧だけではなく、実際に非常食を準備してもらう研修を行う事になりました。幸い昼食からは、厨房で調理した食事を提供してもらうことが出来ました。入所者より「いつものごはんがおいしい。」との言葉を聞き、被災時においても安心して安全なおいしい給食を意識した備えが必要だと改めて感じました。

管理栄養士 友次 朋恵





和みの郷かなや



養護老人ホーム

民踊クラブの皆さんと一緒に踊りを楽しみました。

新見市の婦人会で活動している「民踊クラブ」の皆さんが5月10日、和みの郷を訪れ、踊りを披露してくださいました。

ソーラン節を踊りながら12名の踊り手さんがステージに登場すると、会場に集まった入居者の方々は「待ちました！」と張り切って手拍子でお迎えしました。

代表者の方から「艶っばい踊りの『三朝小唄』です。」などと踊りの説明を受けながら、5曲の民踊が披露されました。入居者の方もよく知っている曲や懐かしい曲もあり、「鹿児島小原節」では、踊り手さんから手踊りを教えてもらいながら、みなさんと一緒に踊って楽しみました。

最後は毎年夏に施設の納涼祭で踊っている地元の「新見音頭」。誘ってもらって踊りの輪に入る人、自分の席で踊る人、それぞれに楽しんで、笑顔いっぱいの時間を過ごしました。

「また来てね！」との約束、次の機会も楽しみにしています。



いつも楽しいデイサービス



いつでも笑い声が聞こえてくる楽しいデイサービスから、活動を紹介します。

まずは写真のあじさいの花をご覧ください。5月には元気な鯉のぼりが泳いでいた壁に、6月は花を咲かせようと、利用者さんと協力して、折り紙で鮮やかなあじさいを作りました。

利用者さんは6月に間に合うようにと、何枚もていねいに折り紙を折ってくれました。

その甲斐あって、6月になると、デイルームでは華やかに梅雨の季節が始まりました。色とりどりのあじさいが大輪の花を咲かせ、蛙も喜んで跳ね回ってデイサービスのレクリエーションを応援してくれています。

あじさいが応援してくれたのが、輪投げ大会。背中に得点表を背負って、どなたも真剣そのもの。輪を3つずつ3回投げて得点を競うのですが、どなたも目指すのは1番。真剣そのものの表情をご覧ください。

職員のほうが、「こうやってとぼしてごらん」「もっとまっすぐ投げにゃあ」などとアドバイスをもらいながら楽しく競いあいました。「やっぱり年の功には勝てません。」とは職員の言葉。

楽しいデイサービスを、ほんのわずかですがご紹介しました。良かったら一度遊びに来てください。

平成30年7月豪雨災害により被害にあわれた皆様に こころよりお見舞い申し上げます。

私たちの施設もわずかながら災害支援のお手伝いをしました。

新見市には断水した地域があり、水道復旧までの間（7月10日～7月31日）お風呂に入れない方のために浴室を開放しました。日時を限った開放でしたが、たくさんの方に利用していただきました。

豪雨災害による施設の浴室開放一覧表▶

●豪雨災害による施設の浴室開放一覧表●

施設	浴槽	開放日	開放時間	利用人数	備考
新見市立高齢者センター	1	7/10	10:00-12:00	15	
	2	7/10	13:00-15:00	12	
	3	7/10	16:00-18:00	10	
	4	7/11	10:00-12:00	18	
	5	7/11	13:00-15:00	14	
	6	7/11	16:00-18:00	11	
	7	7/12	10:00-12:00	16	
	8	7/12	13:00-15:00	13	
	9	7/12	16:00-18:00	9	
	10	7/13	10:00-12:00	19	
	11	7/13	13:00-15:00	15	
	12	7/13	16:00-18:00	12	
	13	7/14	10:00-12:00	17	
	14	7/14	13:00-15:00	14	
	15	7/14	16:00-18:00	11	
	16	7/15	10:00-12:00	18	
	17	7/15	13:00-15:00	15	
	18	7/15	16:00-18:00	12	
	19	7/16	10:00-12:00	19	
	20	7/16	13:00-15:00	16	
	21	7/16	16:00-18:00	13	
	22	7/17	10:00-12:00	17	
	23	7/17	13:00-15:00	14	
	24	7/17	16:00-18:00	11	
	25	7/18	10:00-12:00	18	
	26	7/18	13:00-15:00	15	
	27	7/18	16:00-18:00	12	
	28	7/19	10:00-12:00	19	
	29	7/19	13:00-15:00	16	
	30	7/19	16:00-18:00	13	
	31	7/20	10:00-12:00	18	
	32	7/20	13:00-15:00	15	
	33	7/20	16:00-18:00	12	

※により、開放時間が異なりますので、御注意ください。

問い合わせ先：新見市 福祉課 電話：(0867) 72-4125

5月17日 昼食に「中華バイキング」を楽しみました。

大きな容器に盛られたたくさんの中華料理を見ながら、“あれも食べたい、これも食べたい”とお皿にあふれんばかりに選んで、お腹いっぱいになった一日でした。



6月7日 今日の昼食は「パンバイキング」です。

前回とは違ってパンを選びます。施設の食事ではなかなかお目にかかることが少ない菓子パンですが、こんなに種類があるんですね。「これは何パン？」などと話しながら楽しく選んで食べました。



7月10日 は「ファーストフードバイキング」焼き鳥丼、そうめん、ハンバーガー、コロッケバーガーと楽しいメニューが並びました。毎回ですが、趣向を凝らしたメニューに食事の楽しみが広がり、たくさん食べました。



7月19日 は「弁当の日」毎月1回、それぞれのユニットで昼食を食べます。弁当形式の食事はなんだかうきうきする気分になって、あれこれ話をしながら、きれいない通りの食事を楽しみます。

7月26日 は7月の誕生会です。毎月、誕生者は花を生けて飾ります。お化粧やおしゃれをし、昼食のときに皆に祝ってもらいます。食事の後はカラオケパーティー、施設長の甘い歌声も響いて楽しいひと時を過ごしました。



この度、私達は、西日本豪雨で被災した広島県に於いて、7月17日～21日の5日間、広島済生会「介護老人保健施設 はまな荘」に介護職員の災害派遣チーム (DCAT) として伺いました。「はまな荘」は済生会広島病院中央館に平成11年4月に家庭復帰を支援する施設として開設されました。基本理念として「優しく・温かく・その人らしく自立を支援します」を旗印として、「生活リハビリテーションエクササイズ」「家庭環境アドバイス」「療養生活サポート」等の活動をしています。

この度の豪雨で、ライフラインなど一部の地域を除いては復旧しつつある中、未だに職員の中には避難されている方や、出勤をするのに2～3時間かけている方もいると聞かされました。今回、私達も「はまな荘」に向かうまでの道のりで、県外から来ている災害派遣車・消防自動車・レスキュー隊・自衛隊などの応援車で渋滞というよりも停滞状態に遭遇した為、途中で車を降り徒歩40分かけて行きました。5日間の派遣目的は、施設の通常業務支援でした。出勤できない職員さんの代わりに業務に入らせて頂きましたが、福祉ならではの看護・介護・リハビリ・相談員さんなど、いわゆる多職種が『協働の徹底』をしたチームワークの素晴らしさを学ぶことが出来ました。また、利用者様とは、たくさん関わる事で身体的なフォローだけでなく精神的な面でも、しっかり関わらせていただきました。

今回の貴重な経験を通して、また、初めての業務に入らせていただいた事で、新人職員の方々も最初は戸惑いや不安の気持ちを抱えた上で業務と向き合っている事を理解すると同時に、私達も改めて「初心に戻る」事もできました。まだまだ、復興までには時間がかかると思いますが、私達はこれからもずっと忘れる事なく再生するまで共に頑張っていきたいと思っています。この様な状況の中、明るく接して下さった職員の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。一日も早く平穏な生活が戻ることを心よりお祈り申し上げます。

介護職員 工藤 富美恵・福嶋 美江

※協働：複数の主体が、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること。



この度の7月豪雨により被災された皆様と、そのご家族、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。済生会としても被災された方の受入れ、被災施設、避難所への職員派遣、義援金など支援活動を行っておりますが、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

災害時にいつも思うことは、突然の災害に対する事前の備えと共助（近隣の助け）の重要性です。今回の災害でも真備地区では第三者に救助された方は4割（避難所での調査）を占めていますし、総社市下原地区では自主防災組織による全戸避難活動で犠牲者ゼロとなりました。

福祉施設として地域の防災活動に取り組んでいきたいと思えます。

みなみがた荘 森本 尚俊

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号 TEL086-252-2222 宇垣荘：岡山市北区御津宇垣2069-10 TEL086-724-0707
 憩いの丘：岡山市北区日近1807 TEL086-295-1155 玉松園：岡山市北区御津金川123番地 TEL086-724-0058
 備中荘：岡山市北区高松原古才600-5 TEL086-287-3332 和みの郷かなや：新見市金谷641番地 TEL086-772-1244
 福祉施設合同HP <http://www.okasaisei-life.jp/>